

ビジネス パスファインダー データベースにおまかせ!

【第2回】

日経テレコン

「日経テレコン」は、日本経済新聞社が発行する過去40年分の新聞・雑誌記事を中心に、幅広いビジネス情報を収録したデータベースです。日本国内の情報だけでなく、英訳ニュースや海外情報も豊富です。



★日経テレコンで調べられること

新聞記事 日経各紙の横断記事検索、直近7日分の最新記事などを読むことができます

調べられる新聞	収録期間	更新
日本経済新聞朝刊	1949年4月～	毎日
日本経済新聞夕刊	1949年4月～	毎日
日本経済新聞 地方経済面	1976年1月～	毎日
日経産業新聞	1975年4月～	月～金曜日
日経MJ（流通新聞）	1975年1月～	月、水、金曜日
日経プラスワン	2000年4月～	土曜日
日経金融新聞	1987年10月～2008年1月（以後休止）	-
日経マガジン	2005年3月20日創刊号～2012年3月18日号（以後休刊）	-
日本経済新聞（明治から戦後まで）	1876年12月2日創刊号～1949年3月	-

企業検索 およそ2万2千社の「会社プロフィール」、3千7百社の最新3期「企業決算」を検索できます。

人事検索 ・全国の上場・有力未上場企業2万1千社の役職者26万1千件収録
・中央官庁、政経団体、業界団体、都道府県・市の幹部職員、国会議員など約2万9千件収録

データ&ランキング 日経各紙に掲載された調査や、地域経済・都市データ、売れ筋商品ランキングなど様々なデータをみることができます

English Menu 主要な日経各紙の英訳版、米ダウ・ジョーンズ社が配信する直近7日分のニュースなどを読むことができます。

★日経テレコンを利用するには

- ①データベース席を予約する(53号参照)→図書館ホームページから、または来館して直接予約してください
- ②データベース席からパスワードを入力しログインする(パスワード入力には図書館員が行います)

次回 55号は

9月1日発行予定です

■編集後記■ 図書館の評判について、グーグルなど「口コミ」をとときどきチェックしています。厳しい評価、難しいご提案もありますが、うれしい評価もあります。これからも、たくさん★がつくように、サービスの充実に努めていきたいと考えています。(HY)

Business Topics Vol. 54



コロナに負けないメンタルを整える

毎日のコロナ感染者数がようやく下降気味になりつつあります。コロナ禍が社会に与えた影響は大変大きなものでした。日常生活、学校生活、そしてビジネス社会にデジタル化やリモート化など、効率的なメリットは確かにあって、これからもリアル+デジタルのハイブリッドな社会が継続されていくと思います。

一方で、コロナ禍による変化によって、心身に不調を来す人もあり、さまざまなデメリットも現れているように思えます。コロナ禍に負けないように、心身の健康を維持していく知恵を身につけたいものです。

■新刊 PICK UP!



『マスクを外す日のために
今から始める、ウイズコロナの健やかな生き方』
和田秀樹／著 幻冬舎（498.3/W）

今やマスクは「顔の一部」となり、「大丈夫と言われても…」と感じている方は多いのではないのでしょうか。マスクのほかにも、長く続いた自粛生活の健康へのダメージははかり知れません。本書は、「自粛・防御一辺倒」の対策ではなく、自らの免疫力を高めながらマスクを外す日に今から備えよう、という提言です

■Contents■

【表紙】新刊PICK UP!

【特集】コロナに負けないメンタルを整える

- ・暮らしの新常識109
- ・コロナ後に生き残る会社 食べる仕事 稼げる働き方
- ・コロナ時代をどう生きるか
- ・コロナショック・サバイバル
- ・突き抜けるコンディション革命
- ・私たちはどう生きるか

(書名五十音順)

【巻末Topic】

データベースにおまかせ!
第2回～日経テレコン

予約ができる
ビジネス書新着リスト

はこちらから→



2022年7月1日発行
(隔月発行)

編集・発行
小牧市中央図書館
0568-73-9951

◆特集◆ コロナに負けないメンタルを整える

『突き抜けるコンディション革命』

小林弘幸／著 ワニブックス 2021.7 (498.3/1)



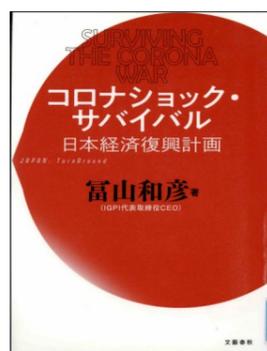
コロナ禍が長引き、さまざまな健康被害が出ています。特にメンタルへの影響は大変大きなものがあります。

この本のp162～で「コロナ禍の新リスク「在宅疲労」を日々の工夫で吹っ飛ばせ！」の章で、45分働いたら15分のリフレッシュタイムを取ることで、など具体的なアドバイスが書かれています。

感染を防ぐのも、感染を治癒するのも自分の心と体の力なのです。

『コロナショック・サバイバル 日本経済復興計画』

富山和彦／著 文藝春秋 2020.5 (332.1/1)

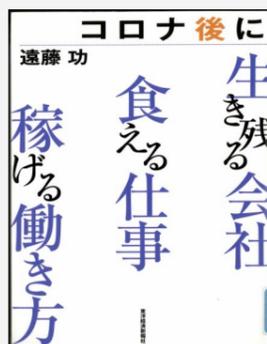


国内初のコロナ肺炎症例を厚生労働省が発表したのは令和2年1月のことでした。その後、この本が発行された同年5月までのわずか4ヶ月で患者数16000人、死者800人超えという未曾有の脅威はまだ記憶に新しいところです。

本書はコロナが及ぼす経済活動への危機、特に日本の雇用の8割を占める飲食や小売、観光といったローカル産業の壊滅を読み解き、未曾有の危機に生き残っていくための指針を豊富なデータとともに指摘しています。2年後の今読んで力強い言葉の数々です。

『コロナ後に生き残る会社 食べる仕事 稼げる働き方』

遠藤功／著 東洋経済新報社 2020.7 (336/1)

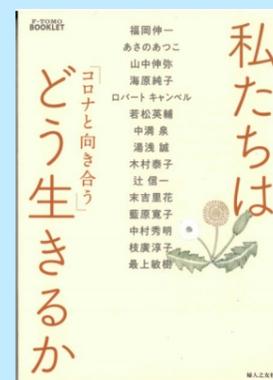


本書は「会社」「仕事」「働き方」に焦点を当て、ポストコロナの目指す姿について具体例を挙げながら提案してくれています。

数多くの企業アドバイザーや経営顧問を務め、そして次世代リーダー育成の企業研修にも携わった著者による厳しい目線で、「敷かれたレールの上を走るだけではない」と意識改革からの提案です。真の豊かさを求めて、自分の可能性に蓋をせずにチャレンジするきっかけになればと思います。

『私たちはどう生きるか コロナと向き合う』

福岡伸一／ほか著 婦人之友社 2020.10 (498.6/7)



この本は、生物学者の福岡伸一氏始め15人の筆者によるメッセージです。その一人、環境ジャーナリストの枝廣淳子氏は「危機だからこそ、変えられる」と題した章で、コロナウィルスに負けず「その先」に進むため、下記の5つを読者に贈ります。

- 1) Stay Healthy (体力・免疫力を保とう)
- 2) Stay Positive (ポジティブな気分でいよう)
- 3) Stay Connected (つながりを保とう)
- 4) Stay Thankful (感謝の気持ちを忘れずに)
- 5) Stay Focused (大事なことは考え続けよう)

『暮らしの新常識109 ウィズコロナ時代に後悔しない』

ニューノーマル研究会／編 小学館 2022.4 (049/1)



マスクなしの生活や大勢での飲み会、毎日会社に通勤する、遠くに旅行する…コロナが広がる前に当たり前だった日常が、今は様変わりしてしまいました。本書は「コロナで激変した暮らし」についての項に始まり、お金や健康、仕事、防災に介護など、ウィズコロナ時代に必要とされる知識が沢山掲載されています。まだまだ不安なことも多いですが、自信を持って日々の暮らしを過ごせるように、新常識を取り入れてはいいかがでしょうか。

『コロナ時代をどう生きるか』(名市大ブックス②)

名古屋市立大学／編 中日新聞社 2020.10 (498.3/ナ)

ウィルス感染症が長期化するなか、ストレスや孤独による心身の不調が起きています。

「不安」とは「未知なこと・危険なことを知らせてくれるアラーム」であり、「不安になったらダメ」と考えるのは禁物なのです。

そうした不安への対処としては、

- ①適切に不安を感じ、実際の危険度に合わせた行動をとる
- ②「心配」のループを繰り返さないこととしていきます。